

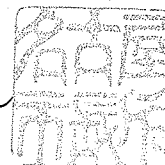
行政文書公開決定通知書

27 市経企第 10 号
平成 27 年 12 月 21 日

名古屋市民オンブズマン
代表 滝田 誠一 様

実施機関

名古屋市長 河村 たかし



平成27年12月7日付けで請求のあった行政文書の公開については、名古屋市情報公開条例第10条第1項の規定により、次のとおり公開することと決定しましたので通知します。

行政文書の名称	名古屋城天守閣整備検討会議(第1回) 会議記録	
行政文書の公開の日時及び場所	日時	平成27年12月22日 午前 3時 <u>午後</u>
	場所	市民情報センター(市役所西庁舎1階)
行政文書の公開の方法	1 閲覧 ② 写しの交付 3 視聴	
備考	配布資料は、すべて名古屋市公式ウェブサイトに掲載してあります。 <決定を行った所管課・公所> 市民経済局企画経理課 TEL 052-972-3102	

注 1 行政文書の公開を受ける際には、この通知書を提示してください。

2 日時の変更、その他は市民情報センターへお問い合わせください。

TEL:972-3153 (直通) FAX:972-4127

名古屋城天守閣整備検討会議(第1回) 会議記録

日 時：平成27年11月9日(月) 9時30分～10時00分

場 所：本庁舎2階 特別会議室

出席者：会長(市長)、副会長(市民経済局所管副市長)、委員13人

欠席者：田宮副市長

発言者	発言内容
<p>事務局 (市民経済局副局長)</p> <p>市長</p>	<p>(会議の取扱いの説明)</p> <p>レジュメに従い、進めていきますが、その前に市長からひと言お願いします。</p> <p>ここまでなんとか苦勞しながらもやってきた。従来は本丸御殿を復元し、その後天守閣という話をしていたが、耐震の問題もあり、いろいろと考えていかなければいけないという中で進めて来ている。</p> <p>たまたまメルボルンでジェットスターのみなさんに会ったが、「ところで名古屋には何があるんですか」と聞かれてしばらく沈黙になった。名古屋城は400年前のオリジナルに建て直せるようにやっていると言ったら、それはexcellentだと言われたのを覚えている。</p> <p>ひとつは耐震改修で29億円かけて一般的には40年、もっと長くもつという説もあるが、逆に何があるかわからないという話もある。経済効果としては、ほぼ工事による経済効果しかない。下手すると失望があるので経済効果は減る可能性もある。</p> <p>そういうA選択肢と、B選択肢ということで、この際、木造で400年前のものに建て替えて最低400年大事にしていこう方向がある。お金も270億円から400億円で、木造なので、やり方によっては半永久的。とりあえず、現在から造った時まで400年遡ってやっていこうと。これだと東京の江戸城の天守閣のグループのシミュレーションによると、350億円程度掛かって1年間で1,000億円の経済効果があると言われている。名古屋も同じぐらいじゃないかと。その選択を市民の皆さんに正確に正しくお知らせする。木造にして魅力のある世界に自慢できるCity of Nagoyaのシンボルとして次の世代をはるかに超えて400年大事にしていこうと。150年ぐらい経つと国宝になると思う。ここにいる人は誰もいないが魂は残る。400年後の子供たちが必ず400年前の世代の市民がええことをやってくれたと思ってくれると僕は</p>

発言者	発言内容
	<p>信じている。</p> <p>昨日もいろいろと名古屋のまち歩きをやってきたけど、スピードアップと情熱アップが必要。地域の人たちに聞くと区役所、区長が天守閣木造で頑張ろうとその気にならないといけないと言われる。区役所単位できめ細かく、学区連協や老人会の集まりなどいろいろあるが、そういうところでの準備をきちっと早く進めてもらうことが大事だと思う。</p> <p>淑徳で勉強会みたいなものがあり、自発的な調査では、賛成が35パーセントで反対が25%。あれは私がしゃべる前の結果。しゃべった後のパーセンテージについてはまた報告してもらうことになっている。</p> <p>何をおいても相当なエネルギーをもって取り組んでもらうようお願いしたい。</p>
<p>事務局 (市民経済局副局長)</p>	<p>続いて、レジユメに沿って、具体的な検討体制等について、名古屋城総合事務所長より説明させていただきます。</p>
<p>名古屋城総合事務所長</p>	<p>(資料説明)</p>
<p>事務局 (市民経済局副局長)</p>	<p>ただいまの資料1～5についての説明、さらにはそれ以外について、何かご意見等がありましたらお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>2020年の竣工式のイメージがあるが、市民の皆さんのご理解を得て進んだ場合は、当然それまでに盛り上げというか、いろいろなイベントを次から次へとやっていく。スポーツは東京、文化は名古屋ということでチャンスを十分活かして世界の人にアピールしていきたい。</p> <p>よく、オリンピックまでの4年で本当にできるのかと言われる。資料を作ったほうがよいと思うが、400年前に加藤清正は約半年で石垣を完成させており、それは外堀から全部。天守閣については1年半だとよく言うが名古屋城の学芸員に聞いたら1年か2年かのどちらかということで、いずれを竣工というのかわからないので真ん中をとって1年半とのことだった。重なってやっていないとすると合わせて2年で400年前に造ったことになる。まだ5年ある。400年前はトラックがない。携帯電話もないから現場との連絡はどうやったのか。クレーンもない。夜間工事をするにもロウソクし</p>

発言者	発言内容
教 育 長	<p>かないので夜間工事はやっていないのではないかと想像している。高層建築の技術そのものがそもそもないという状況で400年前に造っているので、ぜひ皆で自信をもって、総合力をもって、市役所で取り掛かれば出来ると信じている。</p> <p>このスピードで本当にやっていくとなると、文化庁との調整はかなりスピードアップしなければならない。部会に文化庁調整部会といった専任の部会を作って欲しいくらい。今、市民経済局で文化庁との調整をやってもらっていると思う。天守閣整備部会として「天守閣の整備（文化庁との調整を含む。）に関する事」とあるが、現天守閣を壊すことについても調査しろと言われていたくらいであり、文化庁はいろいろな資料を要求してくると思う。文化庁との調整を含むというようなものではなく、かなり専任のチームを作らないと時間的に間に合わないと思うので、部会を作るなり、専門家チームを作るなり、整備部会を二つに分けるなり、もう少し考えたほうがよいのではないか。</p>
市民経済局長	<p>資料3の設置要綱の案を見ていただくと「部会」の最後の7項の部分で「会議は、部会員の内から当該会議に必要と認める部会員のみにより開催できる」とある。確かに全員を集めてやっているスピード感や柔軟性といった、今おっしゃられた部分で問題があるため、こういったところで少人数で文化庁に対していくような形で、教育委員会とも相談しながらやっていきたい。</p>
教 育 長	<p>いろいろな技術者や専門家も、文化庁と忌憚なく調整ができる人をお願いしないと、名古屋市だけでやっても資料の要求等で時間が掛かってしまうと思う。</p>
市民経済局長	<p>連携を密にしてやっていく。</p>
財 政 局 長	<p>タウンミーティングの後で年度内に市民アンケートをされるような情報もあるが、できれば平成28年の議案の提出というところまでの具体的なスケジュールを、今どのように考えているのかをきちんと示していただいて、各部会の</p>

発言者	発言内容
	<p>中で何を優先的にやっていくのか、それをどこでやっていくのかを明らかにすることが必要だと思う。</p> <p>懸案として考えられる一つは議会から言われている市民からの盛り上がりであり、タウンミーティングがそのための大きな推進力になっていくと思う。</p> <p>もう一つは整備の技術提案をする業者の選定であり、これを支援する業者は決まったので、この技術提案に対する仕様書等を作って示していただけたらと思う。</p> <p>また、もう一つ思っているのは文化庁との交渉である。タウンミーティングや技術提案については本市の職員で舵をとっていくことができるのではないかとと思うが、文化庁との交渉については相手のある話なのでこれをうまく進めないと、技術提案の審査・評価の部分が遅れてくることになる。</p> <p>契約については住宅都市局や市民経済局と毎週1回定期的な会議をやっているが、ひとつお願いしたいのは公開・公表をしていくという姿勢。行政のことだけではなく、議会に提案し、了承していただいて進めていくものなので、必ず内部の話と合わせて、外への発信といったことをやっていかないと後で問題になりかねないと思う。</p> <p>いろいろなことがあり、それを360度見ながら、これだけ多くの人が集まってやっていくので、重たいこともあるが、私どもも役割分担の中でやることはやる。特に来年度予算、今年度の予算の話もそうであるが、この部分についてはきっちりとやっていただきたいと思う。</p>
<p>事務局 (市民経済局副局長)</p>	<p>一部の新聞において、今年度内にアンケート実施すると の報道があったが、アンケートについてはあくまで来年の4 月以降の実施ということになっています。</p>
<p>財政局長</p>	<p>議会への報告について市民の動きについては、タウンミ ーティングだけでよいのかということはあると思う。議会 への報告については、よく考えてやっていただかないと。 いろいろなアクションに対するリアクションも考えていか ないといけないと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>いろいろな場面で、学区の委員長ないし議長から、区長 が熱を入れて、学区連協なり老人会の会合なりできめ細か</p>

発言者	発言内容
名古屋城総合事務所長 市長	<p>く説明をして欲しいと具体的に要請されている。先日の議長会でも具体的にそういう要請があったのでそれはやらなければいけない、大変重要なことだと思っている。</p> <p>今、丁度、各区で行なわれている区政協委員長会をまわって、ご説明をさせていただいているところ。</p> <p>もう一つ、建設中の姿を見せるというのもすごく人気がある。その間何もないではない。考えてみると、できてしまった姿は40年後でも見えるが、建設中の姿は今の世代の人しか見られない。姫路城でもとても人気があったと聞いている。</p>
消防長	<p>普通は、こういうものをやる時には文化庁や国土交通省といったいろいろなところの問題が出てくる。今、庁内会議がセットされているが、実務的にこなすには外の応援団をたくさん作らないといけない。</p> <p>例えば、消防法の消防施設の関係でいうと我々で判断すればいいところと未知の部分についてはコンセンサスをとってくる。これだけの公の仕事をやっている学者達も応援しているというものを、普通は一緒にやるものだ。それをやらないと名古屋市の中で検討して出してもできない。そういう人たちが発言する場を作らないとなかなか難しいのではないか。</p>
名古屋城総合事務所長	<p>学識経験者からの意見聴取については、技術提案交渉方式での意見聴取もあるが、並行して3500万円を補正予算でいただいた中で学術研究等として建築関係、文化財関係に造詣が深い方に意見をきく。昨年度も学識経験者の委員にお集まりいただき課題の整理をしてきており、今回はそこを厚めにして意見を聞きながら進めていこうと考えている。</p>
消防長	<p>専門家の意見を聞くのは当然だが、それを外部に向けて情報発信していく作業がないと、内部で暗黙でやっているような形になってしまうので、段階段階で結局は締めができない。その辺りに懸念があるということを申し上げた。</p>

発言者	発言内容
名古屋城総合事務所長	ご意見を踏まえて進めていく。
市 長	なかなか適切なお指摘だと思う。名古屋市プロジェクトだが、国家的プロジェクトとなると応援団を作っていないといけない。
消 防 長	市民に対しても、市長がこう言っていますではなく、みんなで行ってこうという体制が外にもないと。中だけではなかなか難しいのではないか。
住 宅 都 市 局 長	<p>本件については、国の方にも相談しているが、市としての方向性をきちんと打ち立ててやっていくべきとの示唆をいただいている。</p> <p>いろいろ議論あるテーマであるので、今の段階でのやり方と最終的な方向性が出た後のやり方は違ってくると考えている。</p>
市 長	消防長の提案、意見は重要だと思う。400年前も天下普請だったので、そのぐらいの総合力をもってやらなければいけない。国家プロジェクトだと思うが、中心である名古屋市が如何に一丸となって情熱をもって当たれるかが大きいと思う。
事 務 局 (市民経済局副局長)	最後に副市長からお願いいたします。
新 開 副 市 長	<p>区政の議長さんの会議でも、役所できちっとした法に基づいた税金の使い方と事業を執行していくことと、新しい名古屋の魅力をどうしていくのかというチャレンジの大きな一つだということで議会からも予算を認めていただいたので、市民経済局だけではなく関係局一丸となって精力的にやっていくと説明した。皆さんが一番近いところに行っただけでやっていくのでよろしくお願ひしますということで、今、11月の区政の委員長会に行き説明をしている。</p> <p>スケジュールを議会に出したので、このスケジュールに乗せていくには、9月は経済水道委員会で市民経済局だけだったが、消防長からも話があったように市全体でやっていくということでスピード感が非常に求められる。しかも間違っただけではいけないので、局長さんも率先して行動していた</p>

発言者	発言内容
事務局 (市民経済局副局長)	<p>だきたいのと、市民経済局の名古屋城を中心に関係の課長さんも週に1回、2回顔を突き合わせて積極的にやっていただきたいと思う。この会議はその進捗を見ながら適宜開催をしていきたい。</p> <p>本日の検討会議はこれで終了します。</p>